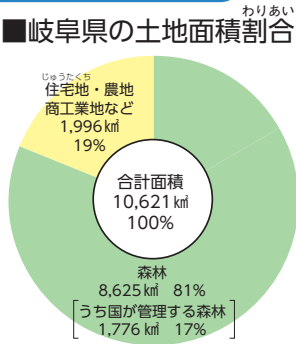


森林



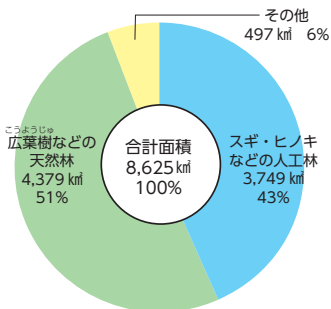
岐阜県のデータ

■岐阜県の土地面積割合



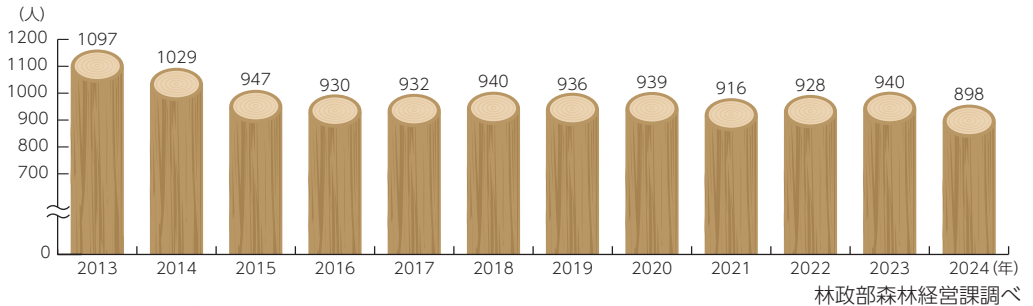
令和5年度 岐阜県森林・林業統計書

■岐阜県の森林の種類

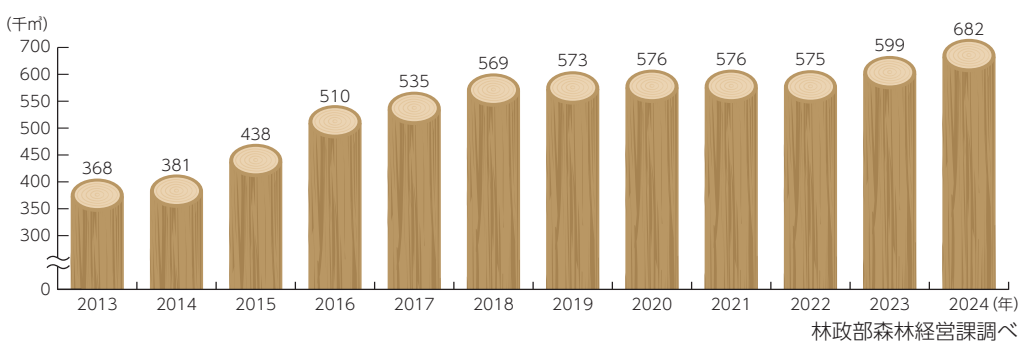


令和5年度 岐阜県森林・林業統計書

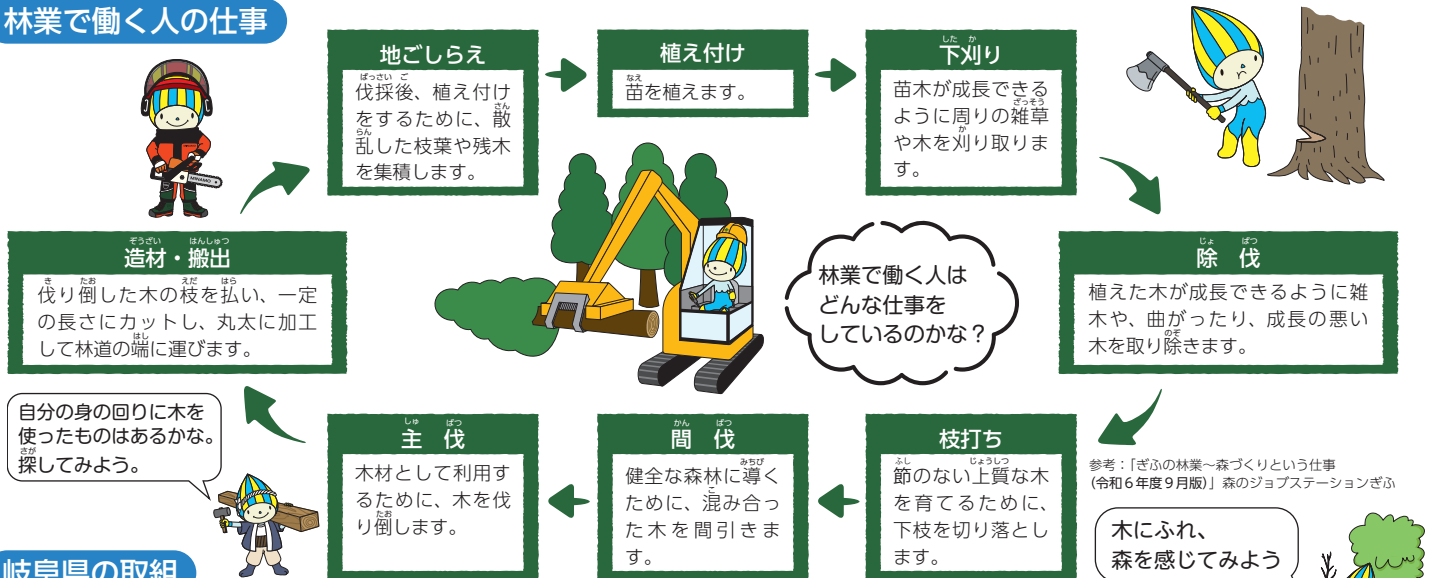
■林業で働く人



■木材生産量の推移



林業で働く人の仕事



岐阜県の取組

モリノス [morinos] すべての人と森をつなぐ「森の入口」

すべての人と森をつなぎ、森と暮らす楽しさと森林文化の豊かさを次の世代に伝えていく「森の入り口」です。morinos ひろばでは、子どもも大人も自分のペースで自由に楽しむことができます。



【森のジョブステーションぎふ】

「林業」の仕事内容、働き先の紹介や林業で働く人の知識・技術をサポートする取組をしています。

また、「森のジョブステーションぎふ」のホームページでは、林業で働こうとする人に向けたいろいろな活動や支援の情報を載せています。





岐阜県の代表的な希少野生生物



ミチノクフクジュソウ
写真提供：大塚英樹



フクジュソウ
写真提供：大塚英樹



オキナグサ
写真提供：大塚英樹



セツブンソウ
写真提供：大塚英樹



サクラソウ
写真提供：高橋 弘



ミカワシオガマ
写真提供：加藤範夫



ミノコバイモ
写真提供：高橋 弘



サルメンエビネ
写真提供：後藤常明



ミノシライトソウ
写真提供：高橋 弘



サクラインソウ
写真提供：高橋 弘



クマガイソウ
写真提供：山崎玲子



セツコク
写真提供：後藤常明



ウチョウラン
写真提供：高橋 弘



ライチョウ
写真提供：田家幸平



ハリヨ
写真提供：世界淡水魚園水族館
アクア・トト ぎふ



ウシモツゴ
写真提供：世界淡水魚園水族館
アクア・トト ぎふ



イタセンパラ
写真提供：世界淡水魚園水族館
アクア・トト ぎふ



タガメ
写真提供：世界淡水魚園水族館
アクア・トト ぎふ



オオサンショウウオ
写真提供：世界淡水魚園水族館
アクア・トト ぎふ

せいぶつ たようせい きき
生物多様性の4つの危機

人間活動・開発

森林の伐採
山の開発
土地の埋め立て

人間の働きかけの減少

里山などの
手入れ不足

外来生物

国や地域にいない
生き物の持ち込み

地球温暖化

海面上昇や
動植物の生息域の変化



生き物のすみかはどうなるかな。

生き物の食べ物はどうなるかな。

岐阜県の取組

イタセンパラ（絶滅危惧Ⅰ類）小学生向け出前講座

イタセンパラは、木曾三川の下流域に生息し、国の天然記念物に指定されている絶滅が危惧されている魚です。

岐阜県水産研究所では、イタセンパラのことを理解し、大切にもらうことができるように、出前講座を行っています。

清流の国ぎふ
森林・環境税活用



ライチョウパートナー

私たちにできることを始めることで、
みんなもライチョウパートナー！

知ります 本などで調べてみよう！

伝えます 知ったことを話してみよう！

参加します イベントや保護活動に参加してみよう！



岐阜県の代表的な特定外来生物



ヌートリア
 写真提供：環境省



クリハラリス (タイワンリス)
 写真提供：環境省



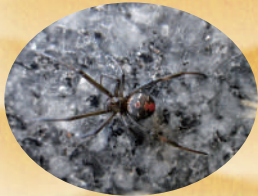
アライグマ



ソウシチョウ
 写真提供：環境省



アルゼンチンアリ
 写真提供：環境省



セアカゴケグモ
 写真提供：環境省



オオカワデシヤ
 写真提供：環境省



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ
 写真提供：環境省



アレチウリ
 写真提供：環境省



オオフサモ
 写真提供：環境省



カワヒバリガイ
 写真提供：環境省



カミツキガメ
 写真提供：環境省



アカミミガメ
 写真提供：環境省



ウシガエル
 写真提供：環境省



カダヤシ
 写真提供：岐阜大学 向井貴彦教授



アメリカザリガニ
 写真提供：世界淡水魚園水族館
 アクア・トト ぎふ



ブルーギル
 写真提供：環境省



コクチバス
 写真提供：世界淡水魚園水族館
 アクア・トト ぎふ



オオクチバス
 写真提供：環境省

外来種による問題

わたしたちにできることは何かな？



① 日本固有の生態系への影響

- 在来種 (もともとその地域にいる生物) を食べる
- 近縁の在来種と交雑して雑種をつくる
- 在来種のすみかを奪ったり、えさを奪い合ったりする

② 人の生命・身体への影響

- 毒をもっている
- 人をかんだり刺したりする

③ 農林水産業への影響

- 農林水産物を食べる
- 畑を踏み荒らす

外来種被害予防3原則

- ① 悪影響を及ぼすおそれのある外来種を “入れない”
- ② 飼育している外来種を屋外に “捨てない”
- ③ すでに屋外にいる外来種を他地域に “拡げない”

岐阜県の取組

コクチバス駆除に向けた取組

岐阜県では、特定外来生物のコクチバスを駆除するため、電気ショッカーボートを導入しました。電気ショッカーボートに取り付けた電極から水中に電気を流し、魚を一時的にしびれさせて捕獲します。県や漁協、市町村、河川管理者、ダム管理者など関係者が一丸となってコクチバス駆除対策を進めています。

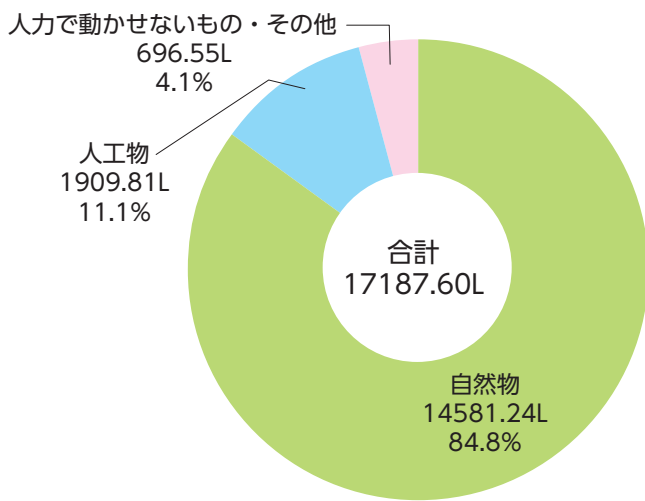


海洋ごみ

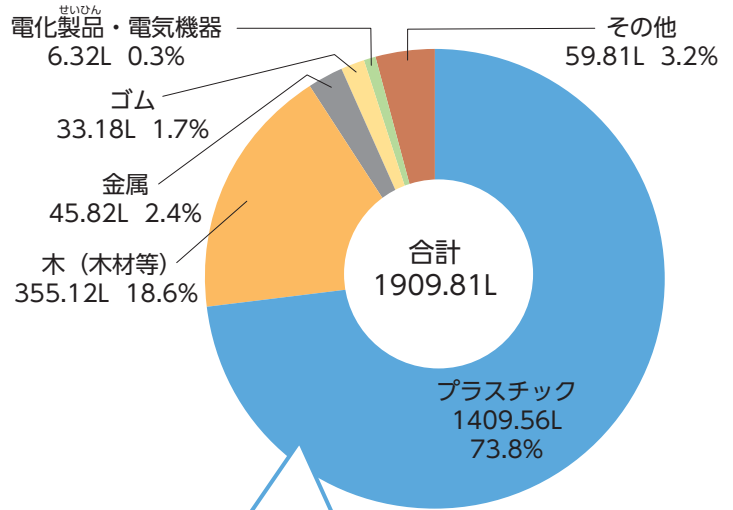


漂着ごみのモニタリング調査 (令和6年度 三重県)

■漂着ごみの内訳



■漂着ごみ (人工物) の内訳



河口に漂着したプラスチックごみ

大雨の後の河口には、上流から流されてきたペットボトルごみなどが漂着します。



提供：四日市大学 千葉賢教授
※2018年10月23日 庄内川 (愛知県) 河口

プラスチックの内訳ランキング

順位	項目	容量 (L)
1	飲料用ペットボトル (1L未満のもの)	124.91
2	ロープ、ひも (漁具)	94.24
3	硬質プラスチック破片	88.76
4	ポリ袋 (不透明、透明)	87.38
5	シートや袋の破片	86.84

岐阜県の取組

海洋ごみを減らすために、海なし県でできること

岐阜県では、ごみ拾い SNS 「ピリカ」 を活用し、投稿された清掃活動の成果を、県公式HP内で公表しています。

ぜひみなさんも、身近なところから清掃活動に取り組み、県内の仲間たちと活動を共有しながら、その輪を広げていきましょう。



わたしたちができることは何か。

今の生活をチェックしてみよう。

	わたしたちができること	チェック
1	ごみのポイ捨てはしない 風で飛ばされた持ち物は回収	
2	河川清掃活動への参加	
3	プラスチック製品に代わる製品を選ぶ (例) 木製スプーン	
4	ごみは市町村のルールを守って捨てる	
5	買い物にはマイバックを、 外出時にはマイボトルを使用	
6	ごみを拾い、ピリカへ投稿	
7	レジャーを楽しんだ後のごみは持ち帰る	



食品ロス



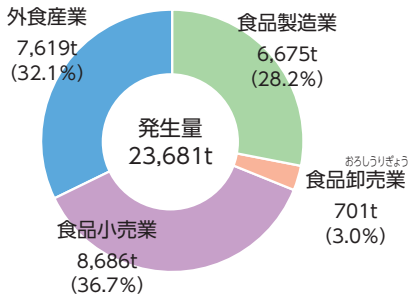
岐阜県のデータ

岐阜県の食品ロス発生量（令和元年度推計）

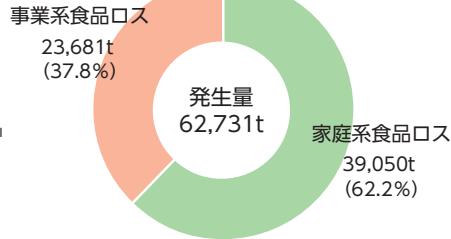


じぎょうけい

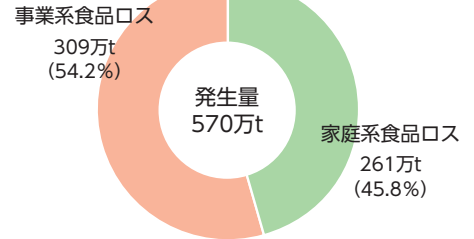
事業系食品ロスの内訳（発生業種別）



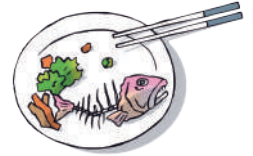
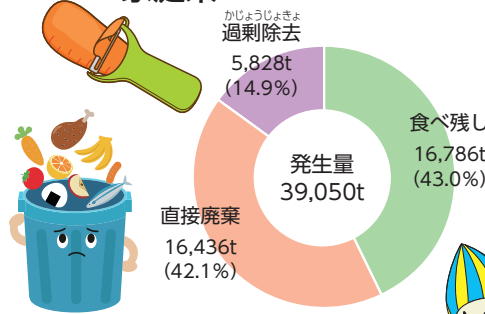
岐阜県



(参考) 全国



家庭系食品ロスの内訳（発生要因別）



岐阜県食品ロス削減推進計画
令和4年3月

家庭での食品ロスを減らすための何ができるかな？

岐阜県は、家庭系の食品ロスが多いね。

家庭での食品ロスを減らすためのヒント

買い物をするとき

- 今ある食材を確認する。
- 賞味期限や消費期限を確認して、使用時期を考え、使い切れる分だけ購入する。

★てまえどり ★見切り品の活用

食品を保存するとき

- 食材に適した保存を行う。
- 冷蔵庫や冷凍庫に残っているものを定期的に確認する。
- 食材を使い切るようにする。

★賞味期限、消費期限のチェック

調理するとき

- 余った食材を使った献立など、今ある食材を計画的に使い切る。
- 食材の食べられる部分はできるだけ無駄にしないようにする。

★食べきりレシピ

岐阜県の取組



みんなで食品ロスを減らそう！

フードドライブって何？

フードドライブとは、家庭で使いきれない食品を集め、食品を必要としている地域の福祉団体などに寄付をする活動のことです。県は、活動がより活発に行われるように、実施する方に向けたマニュアルの配付や必要な物品の貸出しなどを行っています。みなさんも、最寄りのフードドライブに参加しましょう。



ぎふ食べきり運動

県は、食品をおいしく食べきる「ぎふ食べきり運動」を進めています。

家庭で楽しく食品ロスを減らすために、簡単にできるリメイクレシピの紹介や親子クッキング動画の配信をしていますのでチェックしてみましょう。



公式Instagramでは、おうちでできる取組を紹介しています！

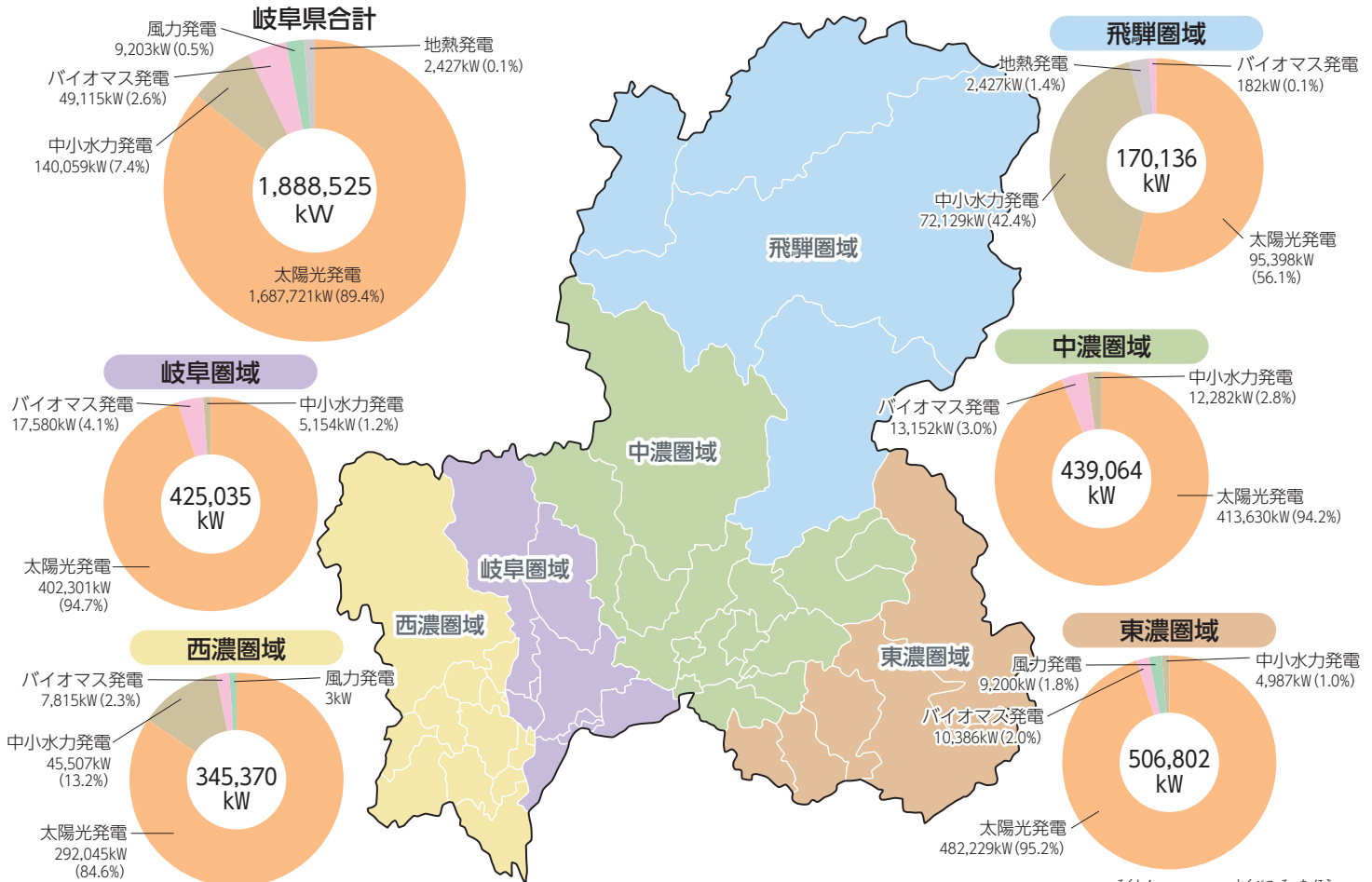


再生可能エネルギー



岐阜県のデータ

再生可能エネルギーの圏域別導入容量



出典：資源エネルギー庁 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法
 情報公表用ウェブサイト（2024年3月末時点）より作成

※導入容量：発電設備の最大出力

※市町村不明分があるため、圏域別の数値と岐阜県全体の数値は一致しない。

※端数処理のため、合計と内訳の計は一致しない。

岐阜県の取組

小水力発電施設を活用した環境学習

小水力発電は、ダムを作らずに、川や用水路など、高いところから低いところへ流れる水の力を使って、水車を回して電気を作る方法です。

小水力発電について、理解をしてもらうために、小学生を対象に小水力発電施設の見学を実施しています。

清流の国ぎふ
 森林・環境税活用



発電施設の見学（下呂市）

エネルギーの森づくり

エネルギーの森づくりは、手間をかけずに早く育つ木を使って、環境にやさしいエネルギーを作る取り組みです。二酸化炭素を吸って生長した樹木は、電気や暖房などの燃料として使います。大気中に放出された二酸化炭素は、再び樹木が吸収するので、カーボンニュートラルに貢献することができます。

